

— FOR the 信州、郷土を愛する心で —  
**株式会社 長野技研**

所在地：〒390-1241 長野県松本市大字新村2326  
TEL : 0263-47-7677  
FAX : 0263-47-6503  
URL : http://www.naganogiken.co.jp/  
従業員：28名  
設立：昭和52年9月1日  
代表者：代表取締役社長 山本和明



本社社屋



ボランティア活動(江戸川区新川木製人道橋)



社内研修旅行



主要地方道扇沢大町線 大町市 白沢橋(波形鋼板ウェブ橋)



国道158号松本市安曇 うすゆき橋(L=330m)



上田市武石 かじか橋(木橋-NSP工法)



東京都江戸川区 新川木製人道橋(NSP工法)



主要地方道大町麻績インター千曲線 生坂村 重(ロックシェッド-SAM工法)



松本市波田黒川(鋼製砂防スリットダム)



松本市安曇 雑炊橋(PC斜張橋)



JR松本駅西口広場(電線共同溝-フリーアクセス)



松本市アルプス大橋(PC有ヒンジ片持ち梁橋)



久保田常務

**会社概要**

当社は昭和52年の創業以来、自然豊かな信州に生まれ育った建設コンサルタントとして、長野県内外の社会資本整備づくりをお手伝いしております。

創業時より橋梁等土木構造物設計を主体に、河川・砂防、道路、鉄道、都市計画、上下水道、公園、林務、農政、環境、地質・測量調査、開発、建築設計など、「For the 郷土」をモットーに様々な事業に貢献してまいりました。現在でも社員数こそ少ないですが、技術者の個々の技術レベルは高く、高い品質の成果を提供する体制を続けて来ております。

**会社の特徴**

当社の雰囲気一言でいえば「個性豊かな技術者の集まり」であります。決してバラバラな組織ではなく、個々がお互いを尊重して、何か問題があれば皆で検討して解決策を見出し、大変まとまりがある技術者集団です。

業務の課題だけでなく、技術開発や社会貢献活動

など、社内ですら十分に議論された後、直ぐ行動に移すのも当社の特徴です。

また、品質管理に関しては、設計方針や設計手法について全技術役員立会のもと、レビューを全案件を対象に何度も実施しており、更に全技術者が設計計算から作図まで自己完結型で作業しているため、エラーが少ないと好評をいただいております。

**社会貢献活動**

当社では地域のコンサルタントとして、様々な地域貢献活動を行っております。国道危険箇所点検ボランティア活動、松本市内危険箇所調査ボランティア活動などは、地域企業と共同で実施しており、また当社で手掛けた橋梁の調査・清掃も毎年独自に行っております。平成23年は東京都江戸川区の新川木製人道橋の清掃、塗装を全社員で実施しました。

**技術開発**

当社は、建設関連産業の発展のため、特に地域の

活性化のため様々な技術開発を行っております。

- ・ **木製ガードレール**  
信州型木製ガードレール1号として長野県から認定され、現在全国で実績が増えてきております。
- ・ **NSP工法(木製橋梁)**  
大断面集成材をプレストレスにより長支間化する工法で、主に木製橋梁の主桁等に適用する。
- ・ **SAM工法(発泡スチロールを用いた落石防護工)**  
ロックシェッドの上載土を発泡スチロールに替えることにより軽量化して、シェッドの安全度を増す工法。
- ・ **シーランド(地すべり予測ソフト)**  
地表面での変位を基に地すべり予測を簡便化したソフト。  
その他多数の技術開発を行っており、建設関連産業から期待されております。

**実績**

上段の写真を参照して下さい。

**人物**

久保田常務は当社のアイデアマン。無類の愛煙家であり、煙とともにアイデアが次から次と湧いてくる。開発技術の多くは彼のアイデア・研究から生まれている。無口なためとつきにくいですが、後輩社員の面倒見が良く、皆からの信頼も厚い。

**最後に**

近年、我が国の財源の問題や急速に老朽化している土木構造物、特に橋梁の長寿命化が課題となっており、当社も長野県内の多くの市町村の長寿命化業務に携わっております。国の財政も東日本大震災の復興という大きな課題もあり、今後益々「今ある施設を有効に使う」方策が重要視されてきます。当社は地域にあるコンサルタントとして、地域に見合ったアセットマネジメントの一助を成す努力をしております。

(文：専務取締役 中嶋孝満)